



## 平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年2月7日  
上場取引所 東

上場会社名 稲畑産業株式会社  
コード番号 8098 URL <http://www.inabata.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 稲畑 勝太郎  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務経営管理室長 (氏名) 久保井 伸和 TEL 03-3639-6421  
四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日  
配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切り捨て)

### 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	465,301	5.9	6,020	△35.9	6,629	△37.5	7,641	0.3
29年3月期第3四半期	439,358	△0.8	9,384	4.3	10,602	5.2	7,617	△0.9

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 2,997百万円 (△86.1%) 29年3月期第3四半期 21,607百万円 (241.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	124.38	—
29年3月期第3四半期	122.67	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	359,258	147,188	40.6
29年3月期	340,147	147,629	43.0

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 145,692百万円 29年3月期 146,258百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	18.00	—	22.00	40.00
30年3月期	—	20.00	—	—	—
30年3月期（予想）	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	620,000	5.7	9,000	△28.7	9,500	△30.5	10,000	3.2	162.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有  
新規 1社（社名）IK PLASTIC COMPOUND MEXICO, S. A. de C. V.、除外 1社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	63,499,227株	29年3月期	63,499,227株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	2,402,367株	29年3月期	2,002,305株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	61,434,894株	29年3月期3Q	62,096,957株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は今後様々な要因によって予測数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、欧米では、米国やドイツなど主要国において、景気回復が続きました。アジアでは、新興国経済の先行き不確実性による影響があるものの、中国において各種政策効果もあり景気持ち直しの動きが継続しました。

一方、日本経済は、雇用情勢や企業収益の改善が進む中、個人消費や輸出、設備投資において持ち直しの動きがみられ、緩やかな景気回復が続きました。

こうした中、当社グループの連結ベースでの売上高は、465,301百万円（対前年同期比5.9%増）となりました。利益面では、欧州拠点における太陽電池関連の取引先に対する貸倒引当金の計上等により、営業利益6,020百万円（同35.9%減）、経常利益6,629百万円（同37.5%減）となりましたが、投資有価証券売却益の計上等もあり、親会社株主に帰属する四半期純利益は7,641百万円（同0.3%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## (情報電子事業)

情報電子事業は、主力商材の販売低調により売上が減少しました。

液晶関連では、偏光板原料の販売が伸長しました。偏光板の販売は主に台湾向けが減少しました。

インクジェットプリンター関連では、コンシューマー分野でインク原料や部品の新規取引が始まり、また産業用分野でも関連部材が伸長し、全体として販売が伸長しました。

複写機関連では、国内主要顧客向けが好調でしたが、海外向けの販売が減少し、全体では横ばいでした。

太陽電池関連の販売は国内外共に低調でした。特に欧州拠点における太陽電池関連の取引先に対する貸倒引当金の計上等により利益面で大きく減少しました。二次電池関連では、材料の販売が減少しました。

半導体関連では、材料・装置共に販売が伸長しました。

これらの結果、売上高は160,516百万円（同4.3%減）となり、セグメント損失（営業損失）は317百万円（前年同期はセグメント利益（営業利益）2,791百万円）となりました。

## (化学品事業)

化学品事業は、樹脂原料・添加剤などの販売伸長により売上が増加しました。

自動車分野では、エアバッグ用の原料販売が低調でしたが、放熱材など、その他の部品原料の販売は総じて堅調でした。樹脂原料・添加剤のビジネスではエンブラ用の原料販売が伸長しました。

塗料・インキ分野向け原料・中間体は、ウレタン関連の販売と海外向け販売が伸長しました。製紙業界向け薬剤の販売は堅調でした。

接着剤関連の販売は、横ばいでした。

これらの結果、売上高は39,218百万円（対前年同期比10.0%増）となりましたが、貸倒引当金の計上もあり、セグメント利益（営業利益）は594百万円（同24.3%減）となりました。

## (生活産業事業)

生活産業事業は、ライフサイエンス関連、食品関連共に販売が伸長して、売上が増加しました。

ライフサイエンス関連では、医薬原料の販売が概ね堅調でしたが、抗生物質原料の販売減少により利益面は低調でした。米国や欧州では、医薬品・化粧品原料の販売が伸長しました。ホームプロダクツ分野は、柔軟剤原料等の販売が減少しましたが、全体では横ばいでした。

食品関連では、農産品・水産品共に販売が伸長しました。米国では、エビ・サーモンの販売が伸長しました。農産品では、輸入品・国産品共に販売が堅調でした。ブロッコリーなど冷凍野菜の販売は伸長しました。

これらの結果、売上高は30,853百万円（同2.8%増）となり、セグメント利益（営業利益）は1,299百万円（同13.2%減）となりました。

(合成樹脂事業)

合成樹脂事業は、注力分野である自動車関連の販売好調などにより売上が増加しました。

汎用樹脂関連では、日用品・食品・化粧品容器向けの樹脂の販売が伸長しました。建材関連の販売は横ばいでした。

高機能樹脂関連では、自動車向けの樹脂の販売が国内外共に好調でした。中国では日系・非日系共に自動車向けの樹脂の販売が伸長しました。東南アジアでは車両、OA、家電向けなどの樹脂の販売が伸長しました。

コンパウンド事業では、メキシコ拠点が利益面で苦戦しました。

フィルム・シート関連では、コンビニ飲料用や電子部品用の包材の販売が堅調でした。

スポーツ資材関連では、グリップテープの国内向けの販売が堅調でした。

これらの結果、売上高は215,573百万円(同15.3%増)となり、セグメント利益(営業利益)は4,199百万円(同5.8%増)となりました。

(住環境事業)

住環境事業は、海外関連や住宅建材関連が低調でしたが、環境資材関連が好調で、売上が微増となりました。

住宅建材関連では、大手ハウスメーカー及び木質ボードメーカー向けの資材販売が横ばいでしたが、建材メーカー向けの資材販売が低調で、全体として販売が減少しました。

環境資材関連では、非住宅分野向けの資材や住宅設備機器の販売が伸長しました。

海外関連では、東南アジア向けインフラ設備と中国向け原木の販売が低調でした。

これらの結果、売上高は19,018百万円(同0.8%増)となり、セグメント利益(営業利益)は147百万円(同36.8%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて19,110百万円増加(対前期末比5.6%増)し、359,258百万円となりました。

流動資産の増加27,040百万円は、主に貸倒引当金の計上に伴い減少したものの、受取手形及び売掛金並びに商品及び製品が増加したこと等によるものであります。

固定資産の減少7,929百万円は、主に有形固定資産が増加したものの、売却及び時価の下落に伴い投資有価証券が減少したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて19,552百万円増加(同10.2%増)し、212,069百万円となりました。

流動負債の増加23,877百万円は、主に未払法人税等が減少したものの、支払手形及び買掛金並びに短期借入金が増加したこと等によるものであります。

固定負債の減少4,325百万円は、主としてその他が減少したこと等によるものであります。その他の内容は主に繰延税金負債であります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて441百万円減少(同0.3%減)し、147,188百万円となりました。これは、主に利益剰余金が増加したものの、その他有価証券評価差額金が減少したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は40.6%(前連結会計年度末より2.4ポイント減)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年11月14日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	27,365	31,085
受取手形及び売掛金	157,375	176,216
商品及び製品	43,293	46,038
仕掛品	579	717
原材料及び貯蔵品	3,020	3,683
その他	8,078	12,712
貸倒引当金	△1,271	△4,972
流動資産合計	238,441	265,482
固定資産		
有形固定資産	11,381	13,350
無形固定資産	3,473	3,217
投資その他の資産		
投資有価証券	81,106	71,961
退職給付に係る資産	2,721	2,791
その他	4,014	3,399
貸倒引当金	△991	△944
投資その他の資産合計	86,850	77,208
固定資産合計	101,705	93,775
資産合計	340,147	359,258
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	87,777	105,119
短期借入金	51,800	57,116
未払法人税等	3,251	2,639
賞与引当金	1,123	648
その他	6,564	8,871
流動負債合計	150,517	174,395
固定負債		
長期借入金	19,275	19,163
役員退職慰労引当金	33	36
投資損失引当金	114	—
債務保証損失引当金	318	245
退職給付に係る負債	1,191	1,380
その他	21,065	16,848
固定負債合計	41,999	37,674
負債合計	192,517	212,069

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	9,364	9,364
資本剰余金	7,708	7,708
利益剰余金	83,205	88,204
自己株式	△2,069	△2,749
株主資本合計	98,209	102,527
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	45,641	39,269
繰延ヘッジ損益	△18	40
為替換算調整勘定	2,701	4,085
退職給付に係る調整累計額	△275	△231
その他の包括利益累計額合計	48,048	43,164
非支配株主持分	1,371	1,496
純資産合計	147,629	147,188
負債純資産合計	340,147	359,258

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	439,358	465,301
売上原価	407,816	431,596
売上総利益	31,542	33,705
販売費及び一般管理費	22,157	27,685
営業利益	9,384	6,020
営業外収益		
受取利息	178	168
受取配当金	1,236	1,094
為替差益	160	474
持分法による投資利益	363	256
雑収入	555	485
営業外収益合計	2,495	2,479
営業外費用		
支払利息	933	1,254
雑損失	343	615
営業外費用合計	1,276	1,870
経常利益	10,602	6,629
特別利益		
投資有価証券売却益	682	6,671
特別利益合計	682	6,671
特別損失		
投資有価証券評価損	—	335
特別損失合計	—	335
税金等調整前四半期純利益	11,285	12,964
法人税、住民税及び事業税	3,115	4,927
法人税等調整額	208	55
法人税等合計	3,324	4,983
四半期純利益	7,961	7,981
非支配株主に帰属する四半期純利益	344	340
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,617	7,641

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	7,961	7,981
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,950	△6,445
繰延ヘッジ損益	214	58
為替換算調整勘定	477	1,229
退職給付に係る調整額	33	44
持分法適用会社に対する持分相当額	△30	128
その他の包括利益合計	13,645	△4,984
四半期包括利益	21,607	2,997
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	21,173	2,619
非支配株主に係る四半期包括利益	433	377

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	情報電子	化学品	生活産業	合成樹脂	住環境	計				
売上高										
(1) 外部顧客への売上高	167,676	35,657	30,016	187,002	18,872	439,225	133	439,358	—	439,358
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	167,676	35,657	30,016	187,002	18,872	439,225	133	439,358	—	439,358
セグメント利益	2,791	784	1,497	3,968	232	9,275	109	9,384	—	9,384

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	情報電子	化学品	生活産業	合成樹脂	住環境	計				
売上高										
(1) 外部顧客への売上高	160,516	39,218	30,853	215,573	19,018	465,179	121	465,301	—	465,301
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	160,516	39,218	30,853	215,573	19,018	465,179	121	465,301	—	465,301
セグメント利益又は損失(△)	△317	594	1,299	4,199	147	5,922	97	6,020	—	6,020

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。